

鹿児島県立短期大学の理念・目的・教育目標

本学の理念・目的は以下の通りである。

①「鹿児島県立短期大学（以下「本学」という。）は、深く専門の学芸を教授研究するとともに、豊かな教養と職業又は實際生活に必要な能力を有する人材を育成し、もって、地域社会の発展に寄与することを目的とする」（学則第1条）。

②「本学では、教養教育と専門教育の有機的連携を図り、社会情勢の変化に的確に対応するために必要な課題探求・解決能力を育成すること及び社会の形成に主体的に参画するために必要な豊かな人間性をかん養することを基本に、教育研究を行う」（学則第3条の2）。

本学では、上の①は、鹿児島県立短期大学の設置及び管理に関する条例に定められた短期大学としての一般的な設置目的であり、②は、本学としての教育研究上の固有な目的であり、この双方を合体・統合させた内容を教育「理念」として位置づけてきている。即ち、①は、学校教育法第108条および短期大学設置基準第5条第2項の「教育課程の編成方針」の内容に則っており、②はそれを達成するために必要な教育研究上の目的を制定したものであるが、本学では、この2つを合わせて、理念としている。

上の教育理念を具現化するために、短期大学設置基準の第2条の2「短期大学は、学科又は専攻課程ごとに、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を学則等に定め、公表するものとする」に則って、学則に明記したのが、以下の各学科（4学科）および各専攻（6専攻）の目的・目標である。

各学科専攻課程の目的・教育目標

課 程	学科および専攻課程	目的および教育目標
第一部 (昼間課程)	文学科 (目的)	文学, 言語及び文化を学ぶことを通して, 豊かな文学的感性, 柔軟な思考力, 的確な表現力を有し, 多様化した社会で活躍できる人材を育成すること。
	日本語日本文学専攻 (目標)	日本語及び日本文学の理論を学び作品を読むことを通して, 日本語に関する知識と表現力, 日本文学を広くかつ深く解釈し鑑賞する能力を有し, 多様化した地域社会で活躍できる人材を育成すること。
	英語英文学専攻 (目標)	英米文学, 英語学及び英語圏文化を学ぶことを通して, 英語運用能力と豊かな教養を有し, 多様化した国際社会に対応できる人材を育成すること。
	生活科学科 (目的)	衣・食・住を中心とする生活全般を対象とした実践的な専門知識と技能の習得を通して, 柔軟な思考力及び判断力を有し, 地域社会に貢献できる人材を育成すること。
	食物栄養専攻 (目標)	食物及び食生活についての幅広い科学的知識と専門的知識の習得を通して, 健康の維持増進のための実践的能力を有し, 地域社会に貢献できる人材を育成すること。
	生活科学専攻 (目標)	衣及び住を身近な環境として位置づけ, 自然環境及び社会環境を視野に入れながら, 生活全般にかかわる基礎知識の習得を通して, 生活にかかわる事象に科学的に対応する能力を有し, 地域社会に貢献できる人材を育成すること。
商経学科 (目的)	商経学科 (目的)	広く世界, 日本, 地域の経済・社会と企業の構造と運動を研究し, 情報処理の技法習得を通して, 柔軟な思考力と企画力を有し, 地域に貢献できる人材を育成すること。
	経済専攻 (目標)	経済・社会の理論を学び, 地域社会及び産業の分析を通して, 地域の課題を発見する能力, 課題解決の意欲と能力を有し, 地域経済の発展に寄与できる人材を育成すること。
	経営情報専攻 (目標)	経営及び組織の理論を学び, 会計・情報処理の技能習得を通して, ビジネスを企画・管理する意欲と能力を有し, 地域産業の発展に寄与できる人材を育成すること。
第二部 (夜間課程)	商経学科 (目的)	広く世界, 日本, 地域の経済・社会と企業の構造と運動を研究し, 情報処理の技法習得を通して, 柔軟な思考力と企画力, そして豊かな人間関係の構築力を有し, 地域活性化のために活躍できる人材を育成すること。